



ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



はなみずき

mail: wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



ワシントン日本語学校事務局
HOT LINE (301)962-7415
Phone (301)962-7410
FAX (301)962-7411

後期の始まりです

校長 三原 洋一

先週、本年度後期の始業式を行いました。今回も前期と同様に、ビデオ集会ではなく全校生徒が集まっての始業式としました。一度に全校生徒を集めることは難しいため、幼稚園部から小学部4年生までと、小学部5年生から高等部までの2部に分けて実施しました。今回は、聖心ストーンリッジ校のご厚意で、これまで使用したことがないマターセンターを会場としました。



後期始業式のねらいは以下の通りです。
○新しい学期の抱負を持たせるとともに、学習活動の充実や生活態度の確立に積極的に取り組もうとする態度を養う。
○日本的な式典を味わい、日本文化に親しむとともに集団行動を経験する。
○新学期に向けての目標をしっかりと発表し、また人の発表をきちんと聞く態度を養う。

さらに、児童生徒が一つの場所に集まって新学期の決意を固めることで、愛校心や学年・学部を超えた団結心が育まれることを期待しています。

式では、私から、現地校に通いながらも土

曜日に本校に通っているすべての生徒の努力を称賛しました。また、前期の始業式で触れた「挑戦」というキーワードに関連し、私の出身地である長州藩の吉田松陰の言葉「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし」を紹介しました。この言葉を通して、全生徒にこれまでの取り組みを振り返り、後期の挑戦を確認する機会としました。



生徒たちはそれぞれの挑戦を通じて、自分の強みや弱みを知り、成長できるはずです。大切なのは挑戦を恐れず、自分の可能性を信じることだと思います。後期の生徒たちのさらなる成長を期待しています。



また、代表の生徒による新学期に向けたスピーチの後、代表教員より「新学期の学校生活について」の話がありました。

学年代表としてスピーチを行ったのは、小学部1年のモンフォードくれあさん、3年の森山結花さん、4年の竹内偉左続さん、中学部1年の栗原董仁さん・井手恵美さん、3年の西村有紗さん・生島千馨さん、高等部2年の西本成さんです。



どの生徒も堂々と、前期での成長や今後の抱負、日本語学校のよさや友達との思い出づくりの大切さなど、それぞれの意気込みをスピ

ーチしてくれました。その熱意に、会場から大きな拍手が送られました。

今回の会場は生徒たちにとって初めての場所でしたが、どの生徒も落ち着いた態度で人の話を聞き、立派に始業式に臨んでくれました。その姿に、各学年の生徒の前期での成長の跡が伺われ、大変嬉しく思いました。



運動会の絵・感想文紹介③

今週も、運動会の生徒の感想文を紹介します。

○中学部1年 モンフォード ありすさん

今年の運動会は、私は白組でした。はじめて応援団とリレーの選手になって、今までで一番活動した運動会なので、思い出に残ります。

朝は、きりがあったけど、ゲームを始めたら、太陽が出てきて、たまらないくらい暑さになっていました。みんなで、他の学年のことを応援するのが楽しかったです。日本にいる人たちが聞こえるくらい大声で応援しました。

最後に、白組が8年ぶりに勝って、うれしかったです！

○中学部1年 何 理衣さん

運動会の日が近づくにつれて、心がわくわくな気持ちでいっぱいになりました。前日は雨だったのに、当日は朝から太陽が明るく輝いていました。フィールド上には、多くの家族がいるためすごくにぎわっていました。

私が、今年の競技の中で一番楽しかったのは二人三脚です。二人三脚は中学生からやる種目なので、私たちにとっては、初めての挑戦でした。さらに先頭に立っていたので、ますます緊張しましたが、たくさんの応援が聞こえて、不安が和らぎました。ペアの友達と息を合わせて進んだ時が印象に残

りました。

運動会を通して、みんなが力を合わせることの大切さを学びました。全校生徒で一緒に応援し合い、協力し合えたので、とてもいい運動会になったと思います。来年もはりきってがんばります。

○中学部1年 榎本 紗良さん

私は、運動会をとても楽しみにしていました。運動会の2～3日前、「運動会を予定通りに行う」というメールが来た時、とてもうれしかったです。私は当日、運動会の準備のボランティアをしました。くつも泥だらけになり、とても大変でしたが、私たちが頑張って準備した会場をみんなが楽しそうに使っていて、やってよかったなと思いました。

そして、私が一番楽しかったことは、大玉送りで。なぜなら、運動会で唯一、全学年で行える競技だからです。一つの学年だけで行うものと違い、団結力が高まりとても楽しかったです。

今年は、赤組が負けてしまったけれど、来年運動会を行う機会があったら、いままで以上に頑張ろうと思いました。

○中学部2年 A 組生徒から一言ずつ

「あの日だけ雨が降らず、一日中晴れて楽しかった。」「雨あがりグチャグチャだけどいい思い出。」「今回の運動会で怪我が多かったのが心に残っています。来年は良いコンディションになるよう願っています。」「コケてしまった人、痛そうで、見るのが辛かった。」「すごく暑くて泥だらけだったけど、みんなで協力して楽しかった。」「応援団員でない人たちも自分から応援して白組に一体感があつた。」「白組応援団のダンス、練習時は変な踊りで恥ずかしいと思いました。しかし、本番で皆そろって踊った録画を見て、とても格好良かったので驚きました。」「心に残ったのは応援合戦。どちらの組も場を盛り上げてくれたからです。どちらの組も一致団結してカッコいいと思いました。」「二人三脚でパートナーと心を合わせ競走したこと。」「小学生の競技を応援して白組のチームスピリットを出すことも楽しかった。」「恐らく綱引きが原

因だと思うのですが、運動会が終わって数日間、腕、肩、脇腹など筋肉痛が続きました。」「泥まみれのフィールドの上でリレーを走ったこと。」「白組が勝った時、私はほっとしました。」「ぬかるんだ土の上で競技するのは大変だったけど、私のいた白組が大差で勝利したのが嬉しかった。」「

○中学部2年 B 組生徒から一言ずつ

「大玉を「運ぶ」のがおもしろかった。」「大玉運びでは玉も私達も皆ドロだらけ、でもゴールできて良かった。」「競技の間に同じクラスの人と話せて良かった。」「赤組応援団の動きが良かった。ダンスの終わりでポーズを決める時にカメラの音がしてクリエイティブ。でも応援合戦では負けてしまって残念。」「クラスが一緒でも普段話したことなかった人と話せて友達になれたこと。」「二人三脚は思っていたより難しかったです。転ばないようにパートナーと一緒に頑張りました。」「友達が転んで怪我をした。自分も悲しかった。」「あんなグチャグチャで泥だらけの運動会、不自由な上に恥をかき、苦い思い出です。」「今年は初めてリレーの選手になりとても緊張しましたが、とても嬉しかったです。実際走っているときは頭の中は真っ白でした。しかし、泥まみれになりながら皆一生懸命走っているのを見て、改めて運動会の素晴らしさを感じました。運動会で仲良くなることや、絆を強くする機会が色々あり、学校全体が一致団結する良い機会だと思いました。私は運動会が大好きです。」「応援団として他の学年の人と一緒に応援できたのが楽しかった。」「放送係を担当。当日まで分からなかったマイクの感度。タイミングがずれることがあったけれど最後まで出来て良かったです。」「



○中学部3年 小笠原 煌王太さん

今年の運動会は印象に残りました。泥だらけのフィールドでルーをするのは大変でしたが、それでもいい思い出が作れたと思います。用具係が特に忙しかったけれども、友達と一緒に競技の準備ができたのでうれしいです。僕にとっては最後の運動会なので、負けたことはすごく悔しく心に残る結果です。大玉運びや二人三脚がもうできないのを考えると寂しくなります。この運動会を通して、友達と過ごす時間は大切であることを強く感じました。時間は巻き戻せないから、みんなと一緒にいる時間は大事な宝だと思います。



○中学部3年 樋川 心瑛さん

楽しかったです。紅組負けました😭。リレーで転んだ生徒は大丈夫だったかな？泥だらけになったけど、お母さんや先生方を手伝って嬉しかったです。この運動会で初めて審判係を経験できました。午前中だいぶ疲れましたけど、手伝って嬉しかったです。来年の運動会を高校生として経験するのを楽しみにしています。また紅組になりたいです！！！！！！

○中学部3年 今井 航希さん

今回の運動会は僕自身2回目で、去年白組として負けてしまったため、是非今回は勝ちたいという意気込みで臨みました。僕が入ったのはこれまで何年も連続で白星をあげていた赤組で、ようやく自分も勝ちを経験できると思い込んでいました。

現地校で仲の良い友達も応援に来てもらい、やる気が凄いでました。しかし、赤組全員の期待を裏切る敗北に、僕含め全員驚きました。

1番記憶に残っている競技は大玉運びと二人三脚です。大玉運びは、上手く連携が取れず、地面が少し濡れていたこともあり、2回転んでしまいました。二人三脚は僕の仲の良い友達と走ったのですが、脚をつなぐテープが外れるというアクシデントが発生しました。もしかしたら赤組の負けは僕の失敗が1番の原因なのかもしれません！

今年度は昨年出来ずにいた放送係を担当し、急遽1回の放送がキャンセルされましたが、観戦している皆さんが盛り上がるような放送が出来たと思います。特に高学年リレーではアドリブ力の試される場面が多々ありましたが、最高のパフォーマンスが出せたと思います。

来年には日本に帰るので、運動会に参加できるのは今年が最後でした。2回の運動会、両方とも負けてしまいましたが、こういった楽しい行事を開催してくれる日本語学校に入学して良かったなと改めて実感しました。

○高等部1年 中村 晶さん

日本の学校では、小学校はWJLSと同じような形式の運動会だったが、中高になると体育祭の雰囲気が変わり、髪型をかわいくしたり、クラスTシャツを着て写真を撮ることがメインの目的の行事となっていたので、純粹に運動を楽しんだり皆で同じ組の子を応援するのが久しぶりで、とても良い経験になりました。

また、応援団がとても良い経験になりました。はじめは、残って練習したりダンスを練習したりととても大変で、強制参加なんてひどいと思っていましたが、大変だった過程があるからこそ楽しいと思えると知りました。危ない、大変など少しはリスクがなければ本当に楽しいと思うことはできないと感じたので、従来の方で行われるWJLSの運動会はとても面白いと思いました。

○高等部1年 小島 アダム和樹さん

今年の運動会は、以前参加したH校での運動会より狭いSR校会場で行われたものだった。私達のクラスのブルーシート席からは、両親が応援している席は見えず、少し寂しい雰囲気だった。

運動会が始まる数時間前にたくさん雨が降ったため、グラウンドの状態は完璧とは言い難いもので、泥だらけの中を私達は走った。それでも一致団結を図り、ほとんどの競技を行うことができたことは良かったと思う。

運動会を開催するに当たっては、前日から準備する人がいて、閉会後は道具を片付けてくれる多くの人がいたことも忘れてはならない。特に泥だらけになってしまった玉入れで使ったたくさんの玉、泥だらけになってしまった大玉を、家に持ち帰って洗ってくれた人たちへの感謝も忘れてはならない。

○高等部2年 ディヴィッドソン 誠司さん

今年の運動会は、私たちにとって最後の運動会でした。12年間通っていた中で一番印象的でした。小中学生、幼稚園生の皆の前で、ラジオ体操の御手本をしたり、応援団の最高学年のリーダーをしたのがとても楽しかったです。

更に、紅白リレーでは赤組のアンカーになり、チームの信頼も感じ取りました。バトンを落したり、転んでしまった人もいたにもかかわらず、皆で一生懸命取り組めたところが大切だと思いました。

保護者の皆さん、先生方、そしてクラスメイトのおかげで人生最後の運動会を楽しむことができました。



○高等部2年 坂井 唯志郎さん

私は運動会の三週間まえくらいにWJLSに転入したので、他の皆ほどは応援団の練習も準備も参加できなかった。また、今まで日本で過ごしていたので、アメリカで行う日本式の運動会は新鮮だった。

WJLSに転入した日から私は応援団の練習に参加して、まず応援団の完成度に驚かされた。説明会の時からWJLSの応援団は大いに盛り上がりと言われていたが、思った以上に完成度のすごいものだった。応援団の練習には合計三回参加した。参加した一回目からかなり完成していて、練習を経てクオリティがどんどん高まっていた。

本番ではそこまで沢山参加する種目があるわけではないので、他学年や他の生徒の応援に力を入れ、運動会を一日しっかり楽しむことができました。

○高等部2年 岡本 幸次郎ベンジャミンさん

2024年の運動会は僕にとっては最後の運動会だったので、今まで以上に楽しみにしていました。僕は白組で高2は、応援団のリードを取らなければいけない役割だった。キャプテンには残念ながらならなかったけれど、リレーのアンカーという大役を任せられ、1位になり、チームに貢献できてよかったです。

今年の運動会は会場が変わってストーンリッジの奥のフィールドになり、本当にできるのか心配していたけれど、全部スムーズにできたのは、準備をしてくださった多くの人たちのおかげだと思います。

白組は7年間負けていた。白組の応援団は団長を決めるのも遅れ、準備が足りなかったがみんな一生懸命協力し合い頑張って勝てました。白組応援団のパフォーマンスもよくできたとし、特に午後の競技では白組が強かった。最後のリレーでは白組が1位と2位でゴールをし、僕の最後の運動会として最高の思い出になりました。